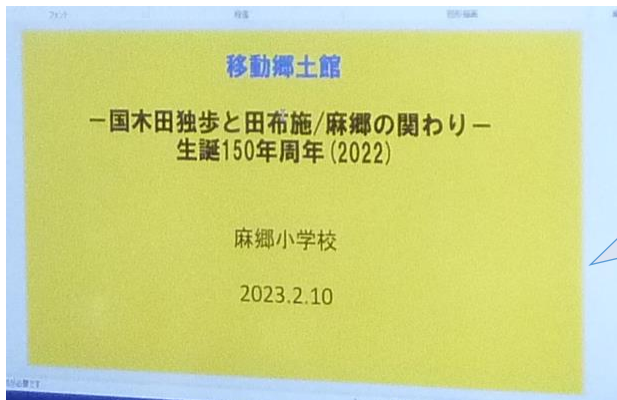


2月10日(金)

ふるさと学習～国木田独歩(5年生)

「ふるさと学習」の一環で、田布施町郷土館の高橋 茂樹 館長をゲストティーチャーにお迎えして、国木田独歩について教えていただきました。



「国木田独歩と田布施・麻郷の関わり」というテーマで話していただきました。令和3年が、国木田独歩生誕150周年にあたる年だったそうです。

父である専八が仮の住まいとしていた麻郷村に帰省して以降、田布施町とのかかわりが始まったそうです。独歩が21歳のときでした。



麻郷小学校で英語を教えていた時期もあったようです。その頃の麻郷小学校の写真も見せていただきました。

独歩の小説には、麻郷や麻里府が舞台となっているものや、地名が使われたりしているものも多いようです。独歩にとって、田布施は特別な地だったのでしょね。



1週間後の2月17日(金)には、高橋館長と一緒に、独歩にゆかりのある高塔地区を歩きます。